

## 令和2年度経済学部グローバル社会文化研究センター個人研究費テーマ一覧

No	資格	氏名	研究テーマ
1	教授	清水 純	台湾における民族間関係および固有社会の変容:17~20世紀を中心に
2	教授	安田 静	「劇場」という場について
3	教授	坪内 浩	技術革新、少子・高齢化とグローバル化が産業構造、成長と所得分配に与える影響、及び変化しつつある経済と金融の関係が経済に与える影響
4	教授	リ ケ	The Study of Chinese Mixed Ownership Reform on its State-Owned Enterprises
5	准教授	位田 将司	1910年代~30年代における文学の「価値」に関わる思想的研究
6	専任講師	佐藤 温	幕末社会における文人の諸相についての研究
7	教授	秋山 孝信	英語法助動詞 <i>would</i> における future in the past について: <i>be to</i> 構文との対比から
8	教授	伊佐敷 隆弘	形而上学の研究(「存在」と「時間」を中心に)
9	教授	卜部 勝彦	ハザードマップ・コミュニケーションをめぐる地図学・地理教育学的研究
10	教授	小笠原 祐子	共働きモデルへの転換に関する国際比較研究
11	教授	奥田 智	高校生を対象とした能動的な市民を育成するためのプログラム開発・普及
12	教授	金田 耕一	福祉国家の思想史的研究
13	教授	齋藤 安彦	高齢者の健康状態が居住形態に及ぼす影響の日米比較
14	教授	坂野 徹	科学の歴史の総合的研究
15	教授	篠ヶ谷 圭太	予習が学習者間の相互作用に及ぼす影響とそのプロセスの検討
16	教授	鈴木 基子	張愛玲の前期小説と後期小説の比較
17	教授	曾根 康雄	中国の経済体制改革過程におけるマクロ経済管理能力の評価
18	教授	武廣 亮平	1)古代出雲の氏族と地域社会 2)東国の歴史と交通
19	教授	田村 真奈美	英国ヴィクトリア朝文学の文化研究
20	教授	鄭 亨奎	中国朝鮮族の日本留学と日本への移住—日本在住の元留学生を事例に—
21	教授	徳永 志織	スペイン語文法の教授法再考
22	教授	根村 直美	近未来社会の倫理を探る—ポストヒューマン表象を手がかりとして
23	教授	山岸 郁子	大衆文学の研究1950-70年代を中心として

No	資格	氏名	研究テーマ
24	教授	リチャード・パウエル	「東南・南アジアの習慣法の言語政策」
25	准教授	岡島 慶	現代アメリカ文学・文化の様相と外国文学研究と英語教育の橋渡しについて
26	准教授	岡本 奈穂子	ドイツ、ザクセン州における移民・難民の社会統合政策
27	准教授	笠貫 葉子	認知言語学的視点からの比喩研究
28	准教授	加藤 嘉津枝	①日本人EFL学習者における中学英語の定着度について②フィンランドの教育法と日本の英語教育③日本人EFL大学生の英文多読—その学習効果について
29	准教授	久井田 直之	CLIL(内容言語統合型学習)と英語経済教育の融合
30	准教授	杉藤 久志	中世および近代英文学における虚構の問題
31	准教授	バターフィールド・ジェフリー	英語由来の外来語使用の英語学習者への英語の理解度や正確性における影響
32	准教授	松倉 力也	大学の学部選択に関する性差と将来の労働需要
33	准教授	村岡 哲郎	斜面におけるスキー基本姿勢の学習
34	准教授	藪越 知子	EFL学習環境における自己調整学習—TOEIC/TOEFL成績との関係
35	専任講師	生亀 清貴	分割表解析における潜在分布の推定に関する研究
36	専任講師	越澤 亮	移動ターゲットの軌道の予測時における視線活動と脳活動様式
37	専任講師	高草木 邦人	近代ルーマニア王国における記憶と政治
38	専任講師	戸塚 英臣	分布関数による株価指数・株式・外国為替相場などのリスク資産の分析手法の実証研究
39	専任講師	ハッチンソン・キャロライン	英語教育
40	専任講師	林 直樹	日本語社会の実態解明
41	専任講師	平木 貴子	都市型キャンパスに通学する大学生の睡眠状況改善および運動習慣獲得の促進要因および阻害要因の検討